

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和4年2月21日

事業所名:原田学園 こぼの支援センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・今年度新しくお部屋を増やした。	支援に使用するスペースや職員の配置は、おおむね満足いただいているようです。 今年度は、コロナ感染予防策として、集団療育の人員配置を工夫いたしました。手洗い等、保護者の皆様のご協力ありがとうございました。 バリアフリー化など、一朝一夕に解決できない課題もありますが、皆様に安心安全に過ごしていただける環境の整備を今後も継続的に検討してまいります。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・職員配置が少ないが、演奏を録音したり、子どもたちへの動機づけを工夫したりされている。 ・集団は少人数にして、職員1人で目が届くようにしている。 ・排泄、手洗い等は保護者にご協力いただいている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・階段をのぼらなければお部屋に行くことができない箇所がある。 ・お部屋は、刺激を減らすこと、視覚教材を使うなどの工夫をしている。建物の入口は階段なので、小さいお子さんや雨の日など特に気を付けながら駐車場までお見送りしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日の清掃やアルコール消毒を行っている。 ・活動によって、コーナーで区切るなど、空間の使い方を変えている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・年度はじめに確認を行っている。	事業所の外部評価につきまして、当事業所は外部に委託しての第三者評価は行っておりません。 ただし、支援形態が母子通所であることや、学校法人であることから専門学校の教員や実習生が訪れることも多く、様々な方からのご意見をいただきやすい環境にあります。 今後も皆様からのご意見が届きやすい風通しのよい事業所運営に努め、いただいたご意見を業務改善につなげてまいります。また、研修の機会を増やし、自己研鑽に努めてまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・職員で振り返り、改善できるよう工夫している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページや事業所内に掲示を行っている。 ・目に届くところに掲示したり、ホームページに載せたりしている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・毎月様々な研修を行っている。 ・ケースカンファレンスや防災訓練、応急救護など、良い機会になった。また保護者講座も勉強になった。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			多くの利用者様にご利用いただいていることもあり、個別支援計画の策定や、職員間での情報共有に関して、会議に十分に時間があてられない現状がありました。そのため、今年度より十分な時間がとれるよう、業務のあり方を見直しております。今後よりいっそうチームで支援に臨むためにも、基本的な業務のあり方、優先順位のつけ方を見直し、より充実した個別支援計画書の策定や職員間での情報共有に努めてまいります。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・検査の研修に参加している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	・個別療育は、個別に立案している。 ・職員同士で連携をとり、情報を共有しながら立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・同じお子さんを担当している先生と情報共有できるようにしている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			関係機関との連携に関して、連携が必要な場合すぐに会議や書面等に対応できるように今後も準備しておきます。 今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で顔と顔を合わせた連携が難しい面がありました。この状況が当面続く可能性があることを考慮し、書面、電話、オンライン等でも十分に連携がとれるよう準備を整えておきます。 また、保護者の方への助言やご相談の対応など充実させられるよう、知識・技術の向上に努めてまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・サービス担当者会議等で情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・サービス担当者会議等で情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・サービス担当者会議や公開療育等に参加し、連携を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・母子通所のため毎回確認を行っている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・保護者向け講座を開催している。 ・ご家庭でできるふれあい遊びや、困ったときの対応や声かけなど、お伝えできるようにしている。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			おおむね満足していただけているようですが、支援内容や事業所運営の説明に関して、不十分な点があったようです。書面での支援内容の説明を含め、すべての利用者様に丁寧な説明が行き届くように努めてまいります。 また、事業所内の掲示板、ホームページやInstagramにて活動報告も行ってまいります。不定期ではございますが、ぜひご覧ください。 また、保護者会や地域との交流を望まれている方もいらっしゃるようです。保護者様同士の交流の機会として、当事業所では一昨年度より「保護者向け講座」を実施しております。地域との交流に関しては、どのような形で実現できるかを今後検討してまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・活動の中で、訓練も計画したいと思う。	緊急時対応や感染症対応等のマニュアルの策定に関して、利用者様への十分な説明ができていないことがありました。事業所内に掲示しておりますので、定期的にお目通しください。 また、避難訓練に関して、利用者様参加型の訓練は現在実施しておりません。高層ビルでの災害にご不安を感じておられる利用者様もいらっしゃいます。今後、実施に向けて検討を行ってまいります。 また、職員の訓練も不十分な点がございますので、すべての職員が訓練に参加できる機会を設けてまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・フェイスシートに記入するようお願いをしている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)